

# 資料編

使用した調査票





問1 あなたは、お住まいや周辺的环境・日々の暮らしの中で、次のような項目1つ1つについて、どの程度満足していますか。

お答えは、「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の5つから選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

(あなたにあてはまらない場合は、「わからない」を選んでください。)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	わからない
<b>〈健康〉</b>						
(1) 日ごろ病気になったときにかかる病院や医院の医療について	1	2	3	4	5	6
(2) 休日や夜間などの救急医療について	1	2	3	4	5	6
(3) 市役所、町村役場が行う生活習慣病検診や医療相談について	1	2	3	4	5	6
(4) あなたの健康を守るための環境全般について	1	2	3	4	5	6
<b>〈安全〉</b>						
(5) 毎日の生活の中での交通の安全性について	1	2	3	4	5	6
(6) あなたがお住まいの地域での防犯体制や防火活動について	1	2	3	4	5	6
(7) 地震や大雨による浸水・がけくずれなど自然災害からの安全性について	1	2	3	4	5	6
(8) あなたの生活全般の安全性について	1	2	3	4	5	6
<b>〈居住環境〉</b>						
(9) 山や川などの自然環境について	1	2	3	4	5	6
(10) 大気汚染や水質汚濁、騒音、振動、悪臭などの状況について	1	2	3	4	5	6
(11) 公園、広場、遊び場などについて	1	2	3	4	5	6
(12) あなたの地域でのごみや生活排水の処理について	1	2	3	4	5	6
(13) 現在お住まいの住宅の敷地や建物の広さについて	1	2	3	4	5	6
(14) バス、鉄道など公共交通の利便性について	1	2	3	4	5	6
(15) あなたの地域の道路の整備状況について	1	2	3	4	5	6
(16) 日常の買い物の利便性について	1	2	3	4	5	6
(17) あなたの居住環境全般について	1	2	3	4	5	6

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満	どちらかといえば不満	不満である	わからない
<b>〈仕事〉</b>						
(18) 自分の望む仕事に就職、転職する機会や職業紹介について	1	2	3	4	5	6
(19) 労働時間や休日、福利厚生、仕事の安全衛生などについて	1	2	3	4	5	6
(20) 今の仕事のやりがいについて	1	2	3	4	5	6
(21) あなたの今のお仕事全般について	1	2	3	4	5	6
<b>〈所得・消費〉</b>						
(22) あなたのご家庭の所得について	1	2	3	4	5	6
(23) あなたのご家庭の資産(預貯金、株式、不動産など)について	1	2	3	4	5	6
(24) 商品(サービス)の種類や豊富さについて	1	2	3	4	5	6
(25) 最近の物価について	1	2	3	4	5	6
(26) あなたのご家庭の暮らし向き全般について	1	2	3	4	5	6
<b>〈子育て・教育〉</b>						
(27) 出産・育児環境について	1	2	3	4	5	6
(28) 幼稚園、保育所などの施設について	1	2	3	4	5	6
(29) 小・中学校、高等学校などの教育について	1	2	3	4	5	6
(30) 県内で大学、短期大学、専門学校などの教育を受ける機会について	1	2	3	4	5	6
(31) しつけなどの各家庭の教育について	1	2	3	4	5	6
(32) あなたのご家族の子育て・教育全般について	1	2	3	4	5	6
<b>〈文化〉</b>						
(33) 趣味の会、教養講座などの文化活動に参加したり、すぐれた芸術文化に接したりする機会について	1	2	3	4	5	6
(34) 図書館、文化ホール、美術館、博物館などの施設について	1	2	3	4	5	6
(35) 史跡、文化財、郷土芸能、まつりなどの保存や伝承について	1	2	3	4	5	6
(36) あなたが日ごろ接している文化全般について	1	2	3	4	5	6



### 【定住意識】

問3 あなたは、山梨県にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- |        |                  |               |                    |           |
|--------|------------------|---------------|--------------------|-----------|
| 1      | 2                | 3             | 4                  | 5         |
| ぜひ住みたい | どちらかといえば<br>住みたい | どちらとも<br>いえない | どちらかといえば<br>住みたくない | ぜひ県外へ移りたい |
- 

### 【山梨県のよいところ・よくないところ】

問4 あなたは、山梨県に住んで、本県のどのような点がよいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 自然環境に恵まれている      | 9 文化や教育が進んでいる      |
| 2 通勤・通学に便利         | 10 物価が安い           |
| 3 買い物に便利           | 11 自然災害が少ない        |
| 4 人情味がある           | 12 大気汚染や水質汚濁などが少ない |
| 5 すばらしい伝統や文化が残っている | 13 東京に近くて便利        |
| 6 将来発展する可能性がある     | 14 行政の対応が早い        |
| 7 福祉や医療が充実している     | 15 治安が良い           |
| 8 出産・子育てしやすい       | 16 その他 ( )         |
- 

問5 あなたは、山梨県のどのような点がよくないと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1 通勤・通学に不便       | 9 物価が高い               |
| 2 買い物に不便         | 10 自然災害が多い            |
| 3 人情味が薄い         | 11 道路・公園・下水道の整備が遅れている |
| 4 好ましくない風習が残っている | 12 市街地に活気がない          |
| 5 魅力ある雇用の場が少ない   | 13 行政の対応が遅い           |
| 6 福祉や医療が遅れている    | 14 治安が悪い              |
| 7 出産・子育てしにくい     | 15 その他 ( )            |
| 8 文化や教育のレベルが低い   |                       |
- 

### 【不安】

問6 あなたは、日々の暮らしのなかで、悩みや不安を感じることがありますか。ある場合は、次の中から3つまで選んでください。

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1 健康・体力      | 8 家族との人間関係 |
| 2 収入・貯蓄      | 9 地域での人間関係 |
| 3 仕事         | 10 住宅      |
| 4 就職         | 11 治安      |
| 5 結婚         | 12 自然災害    |
| 6 子育て・子どもの教育 | 13 その他 ( ) |
| 7 介護         |            |
-

### 【行政の施策についての要望】

問7 あなたが行政に対し、力を入れてほしいと思う施策はどのようなことですか。次の中から5つまで選んでください。

- 1 県内経済を支える地域産業の振興
- 2 雇用の創出・安定化、就職・就業の支援
- 3 農業や農村の振興
- 4 健全な森づくりと、それを支える林業の振興
- 5 環境保全、脱炭素社会の実現
- 6 山梨の魅力をかきた観光の振興
- 7 バス・鉄道などの公共交通機関の充実と利便性の向上
- 8 特色や活気あるまちなみづくりや美しい景観の形成、道路の整備
- 9 高齢者、障害者をはじめ誰もが安心して生活できる地域福祉の推進
- 10 医療体制の充実や健康づくり
- 11 子育てしやすい環境づくりや、育児への支援
- 12 地震、風水害、土砂災害などから生命や財産を守る防災・災害対策
- 13 防犯や交通安全、消費者被害の防止など、安全な社会づくり
- 14 学校教育の充実や、健全な青少年の育成
- 15 芸術文化・スポーツの振興や、生涯学習機会の支援
- 16 人口減少に歯止めをかける施策
- 17 生活困窮者に対する支援
- 18 家族や身近な人のケア（介護、看病等）を行う人に対する支援
- 19 その他（ )

---

### 【地域産業】

問8 経済の活力を高め、豊かな県民生活を維持するためには、競争力のある地域産業の振興が重要です。山梨の産業の現状から、あなたはどのようなことが必要だと思えますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 中小企業の新技術・新製品の開発
  - 2 中小企業の海外市場を含めた販路開拓や受注獲得
  - 3 水素・燃料電池や医療機器といった成長産業分野への県内企業の参入
  - 4 起業や創業
  - 5 技術力向上を図るための産学官（産業界・大学など・行政）の連携
  - 6 将来性のある優良企業の誘致や県内企業の規模拡大
  - 7 将来の産業発展につながる科学技術の振興
  - 8 地域産業を担う技術や知識を身につけた人材の確保・育成（リスクリングへの取り組みを含む）
  - 9 事業活動に必要な資金が十分に調達できるしくみの充実
  - 10 ジュエリー、繊維、ワイン、日本酒などの地場産業のブランド化や販売力の強化
  - 11 伝統工芸品の後継者育成など、伝統産業の振興
  - 12 県民生活や地域県民を支える物流基盤の強化
  - 13 その他（ )
-





問12 環境を守るため、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 太陽光、水力などのクリーンエネルギーの普及促進
- 2 燃料電池車の普及促進など、水素エネルギーの利活用の推進
- 3 省エネやリサイクルの推進など、環境への負荷が少ない生活スタイルの普及
- 4 企業が行う事業活動の省エネ化や低公害化
- 5 マイカー利用からバス、電車、自転車利用への転換促進や、公共交通機関の充実
- 6 産業廃棄物や家庭ごみの処理対策
- 7 地球温暖化防止などに貢献する森林の整備保全や、水資源の保護
- 8 下水道整備や浄化槽の設置推進による生活排水対策
- 9 大気・土壌汚染、水質汚濁、騒音、悪臭など、身近な生活環境悪化への対策
- 10 廃棄物の不法投棄対策の強化
- 11 環境保護意識の啓発や、環境教育の推進
- 12 その他（ ）

---

### 【観光】

問13 観光の振興は、経済の活性化のほか、にぎわいや交流を通じて地域の活力向上や心の豊かさにもつながります。山梨の観光の現状から、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 ワイン、ジュエリーなど県産品のブランド力をいかした観光客誘致
- 2 映画やテレビ番組などの撮影の誘致
- 3 おもてなしの推進に向けた県民挙げての取り組み
- 4 農業体験や自然環境の学習など、参加・体験型旅行商品の開発
- 5 日本有数の山々・景観や温泉、文化財など、地域の資源をいかした観光地づくり
- 6 観光客が利用する施設（遊歩道、トイレなど）の整備・改修
- 7 山岳遭難防止のための啓発など、安全登山に向けた山岳遭難防止対策の推進
- 8 インターネットやSNSなどによる、山梨県の魅力や観光情報の発信
- 9 公共LANの整備など観光客誘致のための取り組み
- 10 JR線や富士急行線、中部横断自動車道を活用した広域的観光地づくり
- 11 観光地を結ぶバスネットワークなど、観光客が利用しやすい公共交通の充実
- 12 ワークेशन<sup>(注5)</sup>の受け入れ環境の整備・支援
- 13 ICTをいかした付加価値の高いサービスの創出
- 14 森林セラピーやグランピングなどアウトドア・アクティビティの場としての森林空間の積極的な活用
- 15 その他（ ）

---

(注5) ワークेशन：「ワーク(Work)」と「バケーション(Vacation)」を組み合わせた造語で、会社員などが、休暇などで滞在している観光地や帰省先などで働く「新しい旅のスタイル」です。

## 【交通政策】

問14 地域の経済の活性化や安全で豊かな生活のためには、公共交通や道路の利便性向上が重要です。山梨の交通の現状から、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 中部横断自動車道（山梨-長野間）の早期整備や中央自動車道の渋滞対策など、高速道路網の充実
- 2 新山梨環状道路など、県内交通の骨格となる道路網の整備
- 3 地域間を結ぶ国道や県道の整備
- 4 生活に密着した市町村道の整備
- 5 リニア中央新幹線の開業効果を全県に波及させるための交通ネットワークの整備
- 6 JR中央線の利便性向上による東京圏などへのアクセス向上
- 7 日常生活を支えるバス路線の確保・維持
- 8 パークアンドライドなど、車に依存しすぎない公共交通機関を利用した交通体系
- 9 交差点の改良やバスレーンの設置などによる渋滞の解消
- 10 歩道の拡幅や段差の解消、自転車道、通学路の整備などによる交通の安全性確保
- 11 自動運転やライドシェア（自家用車の配車）など新たな交通サービスの導入
- 12 超小型モビリティ（電動カート、電動キックボード、電動自転車など）を活用した近距離の日常的な交通手段の充実
- 13 新たな公共交通機関の整備による交通網の充実
- 14 その他（ ）

---

## 【地域福祉】

問15 高齢者や障害者をはじめ誰もが安心して暮らせる地域福祉の推進に向けて、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 高齢者や障害者などの社会参加活動
  - 2 高齢者や障害者が快適に暮らせるまちづくり
  - 3 高齢者や障害者の多様なニーズに応じた福祉施設の整備
  - 4 質の高い福祉サービスが提供できるような福祉人材の養成・確保
  - 5 介護保険制度の充実（介護サービスの質の向上など）
  - 6 高齢者の介護を地域全体で支えるための、生活支援サービス提供体制の充実
  - 7 認知症に対する理解促進や予防プログラムの普及など、認知症患者への総合的な支援体制づくり
  - 8 障害者の日常生活を支援する障害福祉サービスの充実
  - 9 障害者の就労への支援（農福連携の推進を含む）
  - 10 障害や障害者に関する正しい理解の促進や、福祉教育の推進
  - 11 自殺予防への意識を高めることや、地域が自殺防止に取り組む体制の整備・充実
  - 12 薬物やアルコールなどの依存症に係る医療提供体制の整備や回復促進等の支援
  - 13 その他（ ）
-

### 【保健医療】

問16 日ごろからの健康づくりや、病気やけがなどのときに必要な医療を受けられる環境づくりのために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 休日や夜間など緊急時の救急医療体制の整備
- 2 地震などの災害時に、すみやかに必要な医療が提供される体制の充実
- 3 住み慣れた居宅などで必要な医療サービスが受けられる在宅医療の充実
- 4 遠隔医療やICTを活用したオンライン診療の普及
- 5 医療の提供体制が特に弱い地域における、医療機能の充実
- 6 産科医や小児科医など医師の確保・定着
- 7 看護師や助産師など看護職員の確保・定着
- 8 疾病や生活習慣病など予防可能な病気に関する正しい知識の普及啓発及び、予防などの取り組み
- 9 がんなど主要な病気に対する診療体制の整備
- 10 難病医療提供体制の充実
- 11 不妊治療や出産前後の健診・医療が身近で安心して受けられる体制の充実
- 12 健康づくりに関する正しい知識の普及啓発
- 13 将来の妊娠や出産のための健康管理（プレコンセプションケア）に対する支援
- 14 その他（ ）

---

### 【子育て】

問17 安心して子育てができる環境づくりのために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 子育てに役立つ情報提供の充実
  - 2 子育てについての相談やカウンセリングが受けやすい体制の充実
  - 3 ワーク・ライフ・バランスの推進など子育てしやすい職場環境づくり
  - 4 働く親が放課後などに安心して子どもを預けられる場の確保（放課後児童クラブなど）
  - 5 子育て中の親に対する職業訓練や就職支援の充実
  - 6 延長保育や病児保育、休日・夜間保育など、保育サービスの充実
  - 7 児童虐待の防止と早期対応
  - 8 心の問題を抱えた子どもやその家族への相談支援、心の健康を支える体制の充実
  - 9 休日・夜間の急な子どもの病気やけがに対処できる救急医療や電話相談などの体制の充実
  - 10 子どもを犯罪や交通事故から守る、安全確保の取り組み
  - 11 育児や家事を男女が協力して行うような意識の啓発
  - 12 子育てに伴う経済的負担の軽減
  - 13 その他（ ）
-

## 【防災・災害】

問18 大規模自然災害への対策として、地域の防災力の強化や災害に強い県土づくりを進めていくことが重要な課題となっています。

県民の安全を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでを選んでください。

- 1 地域防災リーダーの養成や、防災に関する学習機会の提供など、地域防災力の強化
- 2 消防団や水防団活動の活性化や自主防災組織の育成など、地域での組織的な災害対応力の強化
- 3 消防防災ヘリコプターの運航体制の確保や近隣自治体との応援体制の連携強化など、広域的な防災体制の充実
- 4 消防本部の広域化による防災組織・体制の強化、災害時対応力の強化
- 5 災害や避難に関する情報を、県民にすみやかに提供するシステムの整備
- 6 学校、病院などの公共施設や住宅の耐震化
- 7 洪水や山地崩壊、土砂災害などによる被害を防止する施設の整備
- 8 避難・救助活動や物資援助に役立つ、災害に強い道づくりや橋の耐震化
- 9 富士山火山噴火時の避難を支援する減災対策
- 10 災害時における電力供給体制の強化
- 11 災害など緊急時に備えた食料、飲料水、医薬品などの備蓄や確保
- 12 地震災害時に避難地や物資の集積地として機能する、都市公園の防災拠点化
- 13 その他（ ）

---

## 【安全な社会づくり】

問19 安全に暮らせる社会づくりのために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでを選んでください。

- 1 自主防犯団体の支援や住民の防犯意識の啓発など、地域ぐるみの防犯活動
  - 2 防犯カメラ、防犯灯の設置などによる子ども・女性の安全確保や犯罪の未然防止
  - 3 犯罪被害者への支援対策の充実
  - 4 暴力追放運動の支援や県民・事業者への暴力団排除意識の啓発など、暴力団排除活動の推進
  - 5 交通事故防止や飲酒運転根絶のための、運転者や歩行者への意識啓発など、交通安全対策の充実
  - 6 電話詐欺など県民が被害に遭う危険性の高い犯罪の防止
  - 7 高齢者、障害者をはじめ誰もが利用しやすい施設や通路、駐車場などの整備
  - 8 食品の安全性を確保する監視・検査体制の充実
  - 9 商品・サービスに関する取引の適正化や相談体制の充実
  - 10 インターネットを利用した犯罪から県民を守るため、官民が連携したサイバー犯罪対策
  - 11 インターネット上でのモラルやマナーの向上（SNSへの書き込みなど）に関する普及啓発
  - 12 その他（ ）
-







### 【生活困窮】

問27 収入が少ない方、働きたくても働けない事情がある方、病気や障害のある方、高齢の方など、さまざまな理由で毎日の生活に余裕がなく困っている家庭が少なくありません。

こうした生活困窮世帯の現状から、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 生活保護などセーフティネットの向上
- 2 フードバンクやこども食堂など民間団体による食糧提供の取り組み
- 3 公営住宅などによる住まいの確保
- 4 職業訓練や就職相談などの就労支援
- 5 パートタイムを含めた柔軟な雇用機会の拡大
- 6 学習機会の提供や学用品の支給など子どもへの支援
- 7 家計改善や経済的自立に向けた生活支援
- 8 地域の中で支え合いながら生活することができる場づくり
- 9 心理的なサポートやカウンセリングの提供
- 10 生活困窮者への理解や協力を深める普及啓発活動
- 11 その他 ( )

---

### 【ケアラー問題】

問28 2025年に団塊の世代の皆様が75歳以上になられることに伴い、介護が必要となる方が増えるとともに、介護等を行う側、ケアラー(学校に通いながら家事や家族の介護などを日常的に行っている子どもである「ヤングケアラー」、子育てと介護を同時に抱える「ダブルケアラー」、仕事をしながら家族の介護を担う「ビジネスケアラー」など)の増加が見込まれます。

学び世代の子ども・若者や子育て世代の介護負担軽減、働く世代の介護離職等を防ぐために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 ケアラー問題の重要性についての社会全体での共通認識の醸成に向けた周知
  - 2 介護への向き合い方(抱え込まず周りに相談することなど)についての社会全体への普及啓発
  - 3 ケアラーへの支援機関や支援制度などの情報提供
  - 4 ケアラーが相談できる人や場所の充実
  - 5 ケアラーを支援機関につなげる仕組みの拡充
  - 6 ケアラーが休める時間がとれるような支援
  - 7 ケアラー同士が悩みの共有や情報交換等を行うことができる場の充実
  - 8 ケアラーを支える関係機関(市町村や地域包括支援センター等)の連携強化
  - 9 ケアラーに対する経済的支援
  - 10 ケアが突然発生した際に、伴走的に支援してくれる体制の充実
  - 11 職場や学校等におけるケアラーへの理解促進
  - 12 職場や学校等における仕事や学業との両立に向けた支援の充実
  - 13 その他 ( )
-

最後に、あなた自身のことについておたずねいたします。  
これまでおうかがいしたことを、統計としてまとめるために必要な項目ですので、ぜひお答えくださいますよう、お願いいたします。なお、個人が特定されることはありません。

F 1 性別 あなたの性別をお答えください。

- |   |   |       |
|---|---|-------|
| 1 | 2 | 3     |
| 男 | 女 | 回答しない |

F 2 年齢 あなたの年齢は、令和7年8月1日現在、満でおいくつですか。

- |   |        |   |        |    |        |
|---|--------|---|--------|----|--------|
| 1 | 18～19歳 | 6 | 40～44歳 | 10 | 60～64歳 |
| 2 | 20～24歳 | 7 | 45～49歳 | 11 | 65～69歳 |
| 3 | 25～29歳 | 8 | 50～54歳 | 12 | 70～74歳 |
| 4 | 30～34歳 | 9 | 55～59歳 | 13 | 75歳以上  |
| 5 | 35～39歳 |   |        |    |        |

F 3 職業 あなたのご職業は何ですか。

- |               |   |   |                                  |
|---------------|---|---|----------------------------------|
| 自営業、<br>家族従業者 | { | 1 | 農林水産業                            |
|               |   | 2 | 商工・サービス業（卸小売業・飲食業・製造加工業・建設土木業など） |
|               |   | 3 | 自由業（開業医・弁護士・宗教家・芸術家・著述業・茶華道師匠など） |
| 勤め人           | { | 4 | 会社、商店、工場などに勤めている                 |
|               |   | 5 | 官公庁、公共企業体に勤めている                  |
| その他           | { | 6 | 学生                               |
|               |   | 7 | 主婦・主夫（パート）                       |
|               |   | 8 | 主婦・主夫（専業）                        |
|               |   | 9 | その他（ )                           |

F 4 居住年数 あなたは、山梨県に何年住んでいますか。  
(過去からの居住年数をすべて足した年数を選んでください。)

- |      |        |         |          |       |
|------|--------|---------|----------|-------|
| 1    | 2      | 3       | 4        | 5     |
| 1年未満 | 1～5年未満 | 5～10年未満 | 10～20年未満 | 20年以上 |

F 5 県外居住経験 あなたは、山梨県外に1年以上住んだことがありますか。

- |    |    |
|----|----|
| 1  | 2  |
| ある | ない |

F 6 世帯構造 現在あなたと一緒に暮らしているご家族は次のどれにあたりますか。また何人ですか。  
ご家族全員について、それぞれあてはまる番号を選び、その人数を（ ）にご記入ください。

- |   |           |   |      |    |    |
|---|-----------|---|------|----|----|
| 1 | いない（単独世帯） | 5 | 父母   | （  | 人） |
| 2 | 配偶者、パートナー | 6 | 祖父母  | （  | 人） |
| 3 | こども       | 7 | その他（ | ）（ | 人） |
| 4 | 孫         |   |      | （  | 人） |

---

F 7 世帯構成 あなたといま一緒にお住まいの方の中に、以下のような方はいらっしゃいますか。  
いらっしゃる場合は該当する番号を選び、その人数をご回答ください。

- |   |             |    |   |              |    |    |
|---|-------------|----|---|--------------|----|----|
| 1 | 小学校入学前の乳幼児（ | 人） | 4 | 高校生（         | 人） |    |
| 2 | 小学生（        | 人） | 5 | 大学、短大、専門学校生等 | （  | 人） |
| 3 | 中学生（        | 人） | 6 | 75歳以上の方      | （  | 人） |

---

（調査は以上です。ご協力ありがとうございました。）